

科目名	セキュリティ実習								年度	2025
英語科目名	Security Practice								学期	前期
学科・学年	ネットワークセキュリティ科 2年次	必／選	必	時間数	30	単位数	1	種別※	実習	
担当教員	勝島	教員の実務経験		有	実務経験の職種		システムエンジニア			
【科目の目的】										
セキュリティコンテスト「CTF（Capture The Flag）」の入門を学びます。CTFは情報セキュリティ技術を競う競技で、参加者は問題を解くために解析技術や攻撃技術を駆使します。SECCONなどのCTFの過去問を通じて、CTFの流れやセキュリティ技術の基本を学び、問題解決に必要な知識を実践的にを身につけることを目指します。										
【科目の概要】										
CTFは、参加者が多様な技術を駆使し、問題の答えである「flag」を見つけ出します。本科目では、リバースエンジニアリング、暗号、フォレンジック、WebセキュリティなどのCTFの問題を取り扱います。										
【到達目標】										
A. CTFの流れが理解できる B. いくつかのセキュリティ技術について理解できる C. 問題に対する解決までのアプローチ方法が理解できる D. セキュリティの脆弱性を認識できる E. チームワークでコミュニケーションをとることができる										
【授業の注意点】										
ノートパソコンを必ず持参すること。毎回の授業は、前回までの授業の内容が身につけていることを前提に行うため、必ず復習をすること。授業時間内に終わらなかった演習問題があった場合には、次の授業までに終わらせておくこと。特別な理由（路線の運休、法定伝染病など）のない遅刻や欠席は認められない。										
評価基準＝ルーブリック										
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力					
到達目標 A	CTFの流れが理解・説明でき、活かすことができる	CTFの流れが理解でき、説明できる	CTFの流れが理解できる	CTFの流れが理解できていない	CTFの流れが理解する姿勢がない					
到達目標 B	いくつかのセキュリティ技術について理解・説明でき、活かすことができる	いくつかのセキュリティ技術について理解でき、説明できる	いくつかのセキュリティ技術について理解できる	いくつかのセキュリティ技術について理解できていない	いくつかのセキュリティ技術について理解する姿勢がない					
到達目標 C	問題に対する解決までのアプローチ方法が理解・説明でき、活かすことができる	問題に対する解決までのアプローチ方法が理解でき、説明できる	問題に対する解決までのアプローチ方法が理解できる	問題に対する解決までのアプローチ方法が理解できていない	問題に対する解決までのアプローチ方法が理解する姿勢がない					
到達目標 D	セキュリティの脆弱性を理解・説明でき、活かすことができる	セキュリティの脆弱性を認識でき、説明できる	セキュリティの脆弱性を認識できる	セキュリティの脆弱性を認識できていない	セキュリティの脆弱性を認識する姿勢がない					
到達目標 E	チームワークでコミュニケーションをとることができる、積極的な役割を果たすことができる	チームワークでコミュニケーションをとることができる、役割を果たすことができる	チームワークでコミュニケーションをとることができる	チームワークでコミュニケーションをとることができていない	チームワークでコミュニケーションをとろうとする姿勢がない					
【教科書】										
入門セキュリティコンテストーCTFを解きながら学ぶ実戦技術（技術評論社）										
【参考資料】										
特になし										
【成績の評価方法・評価基準】										
積極的な授業態度、学習した知識を活用するパフォーマンス課題、小テスト等で総合的に評価する										
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。										

